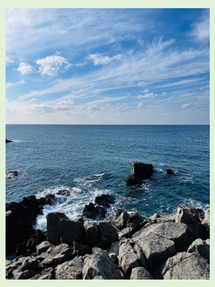
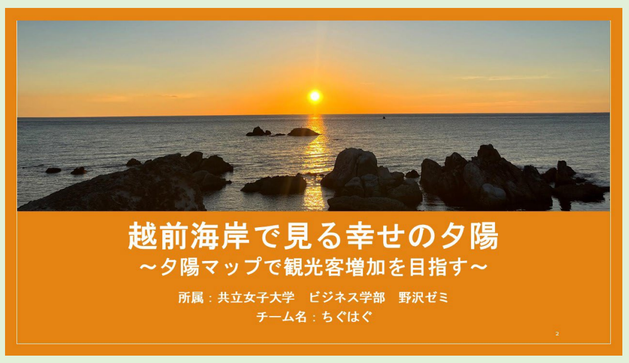
2024年度 共立女子大学・短期大学 地域連携プロジェクト



福井市（越前海岸エリア）の観光モデルコースの開発



ビジネス学部　野沢誠治（教員）　野村つぐみ　飯島綾乃　土屋里紗　森本芽衣　榎梨乃

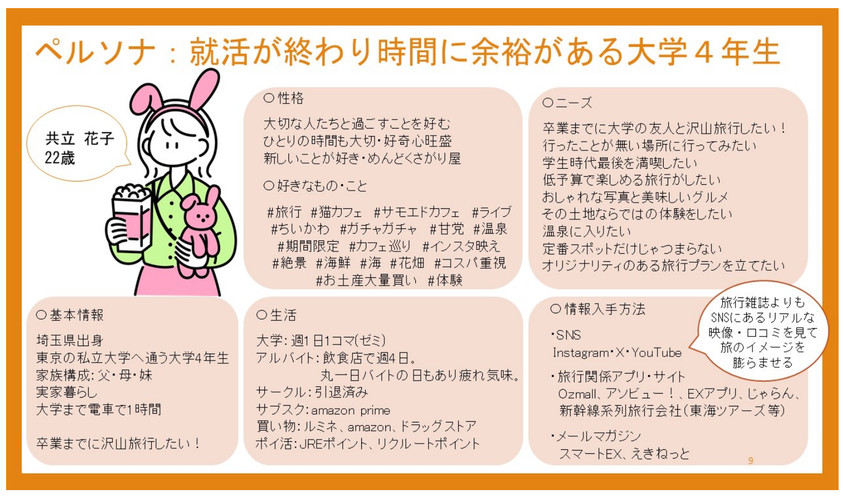
【目的と概要】

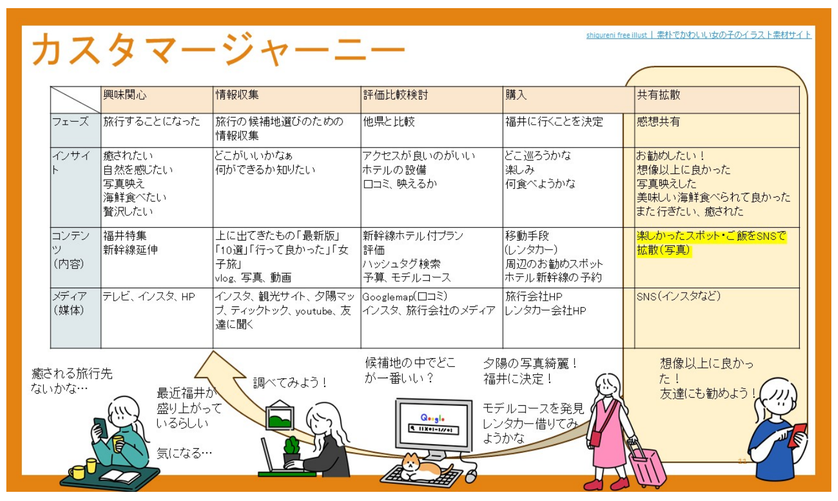
昨年度は、2024年3月の北陸新幹線福井開業を機会と捉え、福井市が課題に挙げる「越前海岸エリアへの誘客」に対し、ゼミの専門であるマーケティングとデータ分析を活かして夕日を鍵とした「夕日マップ」を提案した。

今年度は、福井市出身の3年ゼミ生を加え、さらにそれを深化させるべく、福井市が企画している「越前海岸の観光モデルコースの開発」という課題に取り組んだ。東京に住む20代若者をターゲットとしたモデルコースをマーケティング的視点（ペルソナ＊やカスタマージャーニー＊＊）から仮説を構築し、現地でのフィールド調査を踏まえ、学生ならではの発想を取り入れて、具体的な提案に繋げた。

【提案内容】

＊　サービス・商品の典型的なユーザー像
＊＊ 顧客が製品やサービスを認知し、購入に至るまでの一連のプロセス

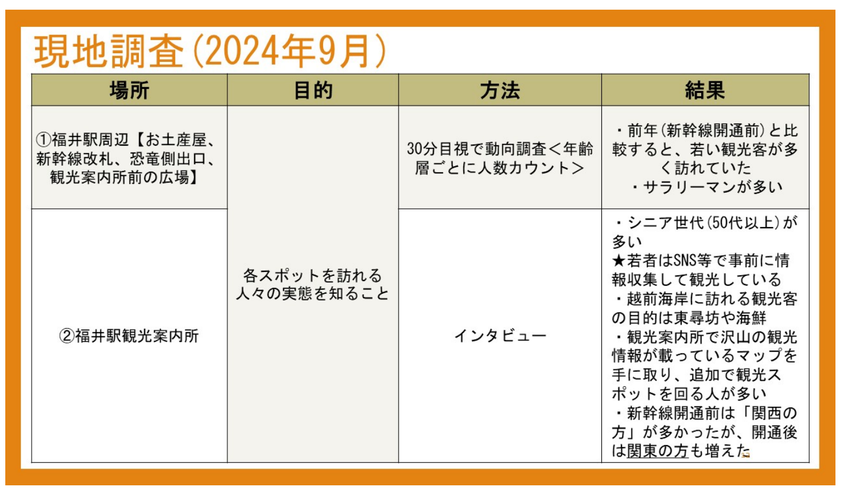




ターゲットのペルソナ*を設定

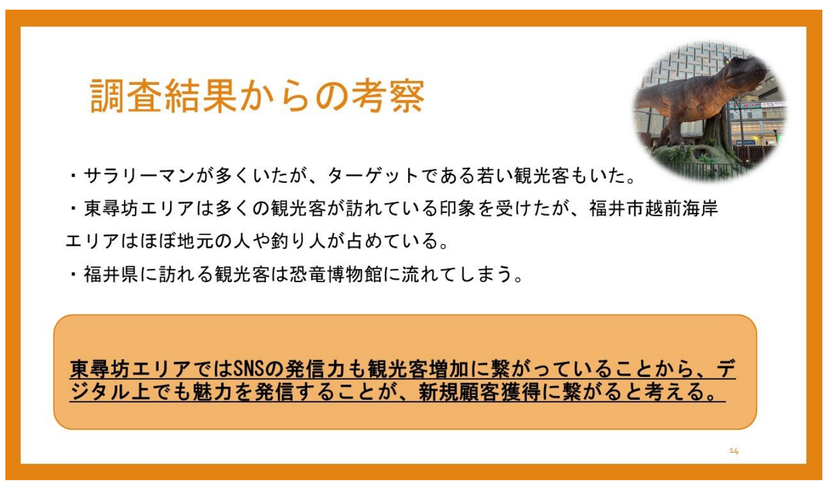
現地調査

カスタマージャーニー**を作成

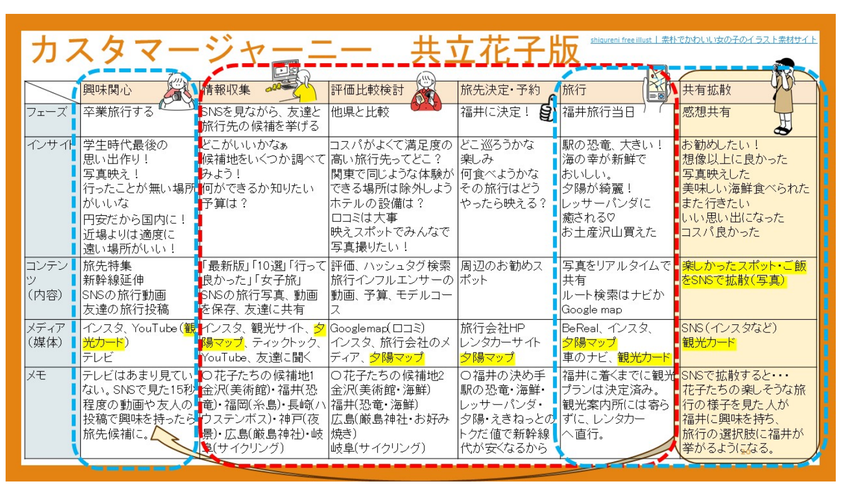


場所	目的	方法	結果
①福井駅周辺【お土産屋、新幹線改札、恐竜側出口、観光案内所前の広場】	各スポットを訪れる人々の実態を知ること	30分目視で動向調査＜年齢層ごとに人数カウント＞	・前年（新幹線開通前）と比較すると、若い観光客が多く訪れていた ・サラリーマンが多い
②福井駅観光案内所		インタビュー	・シニア世代（50代以上）が多い ★若者はSNS等で事前に情報収集して観光している ・越前海岸に訪れる観光客の目的は東尋坊や海鮮 ・観光案内所で沢山の観光情報が載っているマップを手に取り、追加で観光スポットを回る人が多い ・新幹線開通前は「関西の方」が多かったが、開通後は関東の方も増えた

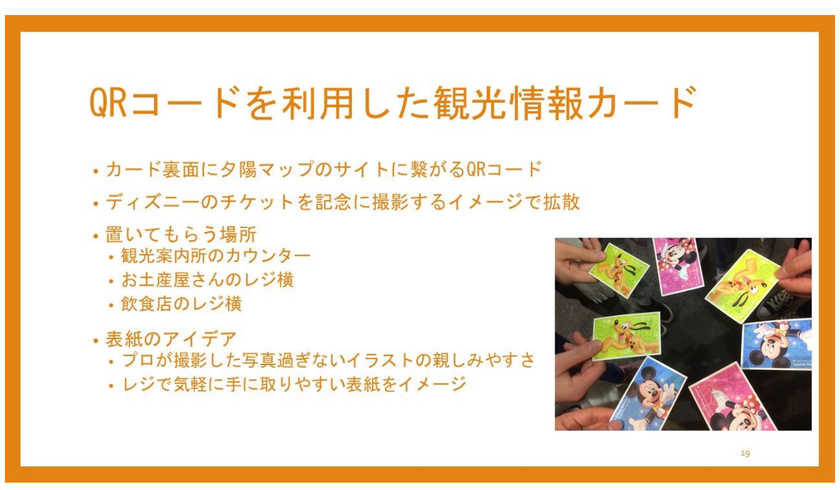
場所	目的	方法	結果
③IWABA CAFÉ・商店街の海鮮屋（東尋坊エリア）	各スポットを訪れる人々の実態を知ること	インタビュー	・海岸沿いのドライブ・ツーリングをしている人が来る ・車や観光バスで訪れる観光客が多い、外国人観光客も来る ・お店が更新しているSNSを見て来る観光客もいる ・恐竜エリアに観光客が流れてしまう 夏休みや蟹の時期が繁忙期
④波の華温泉・あたらしや旅館(越前海岸エリア)		インタビュー	・地元の方や釣り目的の方などお年寄りが多い ・季節ごとに綺麗な夕陽が楽しめる ・越前の路線バスが廃止になり観光客が少ない



施策提案



福井市役所様より



提案1：夕日マップと観光モデルコース　　提案2：観光情報カード

【まとめと考察】

本プロジェクトでは、マーケティングやその分析により本質的課題を捉えながら、現地調査を経て解決策を検討してきた。ペルソナ分析は、顧客（観光客）の深い理解に繋がり、カスタマージャーニーは、その顧客とのタッチポイントを明確に可視化することで、最適な情報を適切な方法で届ける提案に役立った。また、夏に訪れた福井での現地調査では、顧客の生の声を聞くことで、机上では得られない情報を獲得することができ、提案に大いに役立てることができた。1月の最終発表では、福井市の方々に加えて、日刊県民福井、福井新聞のメディアの方々も参加され、活発な議論ができた。そして、提案1が現実に展開され、提案2も展開される見込みである。

今回の地域連携プロジェクトを通じて、学生は社会課題を解決することの難しさを感じながらも、学修したことや身につけたスキルが社会課題を解決するのに役立てられたこと、チームで様々な困難を乗り越え最終提案に結び付けられた経験が得られたことで、学生自身の成長に大きく寄与できたと感じている。

【謝辞】

本プロジェクトを遂行するにあたり、福井市の皆様、とりわけ観光振興課の皆様に大変お世話になりました。この場を借りて深く感謝申し上げます。また、社会連携センターをはじめ、学内の関係者の皆さまに多大なるご支援を賜りましたこと深く御礼申し上げます。